

用具の置き方

パレット・筆洗・
筆・雑巾などの用具
を使いやすいよう
に配置する。



色の並べ方

パレットに出す色の順番は、さまざまな方法がある。絵の具セットの色名と並べ方などを参照するとよい。

色相環が基本(隣の色が混ざったとしても濁りの少ない並べ方)



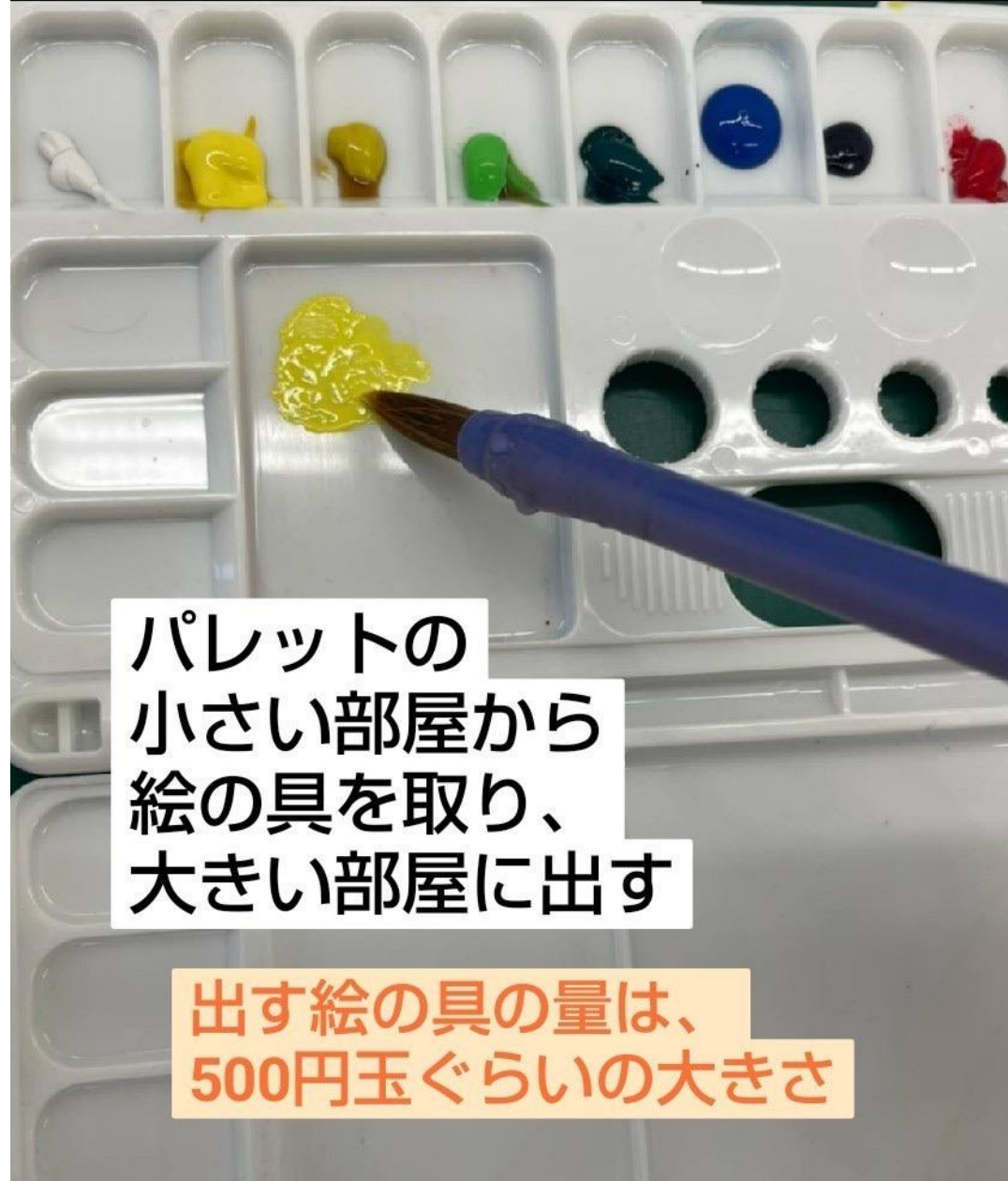
絵の具の出し方

すべての色(12色なら12色)をパレットの小さい部屋に出しておくことが原則。

※短時間の授業や題材の内容によっては、必要な色だけでよい。

※新品の絵の具や長時間使用してない絵の具を出す場合、チューブを軽くもんで押し出すようにするとよい。

絵の具の出し方



パレットの
小さい部屋から
絵の具を取り、
大きい部屋に出す

出す絵の具の量は、
500円玉ぐらいの大きさ

筆洗の使い方

1, 絵の具のついた筆を最初に洗うところ
(洗う)

2, 洗った筆をよくすすぐところ(すすぐ)

3, 筆にきれいな水を付けるところ(付ける)

に分けて使うとよい。

※水の量は2/3程度がよい。



混色したい色を出す



始めに出した色と
少し離して出す

小さい部屋から絵の具を取り出す時は、
汚れた筆を筆洗で洗ってから
行うよう習慣づける

混色の仕方



黄+赤

混色したい2色の間で
色を少しずつ混ぜていく

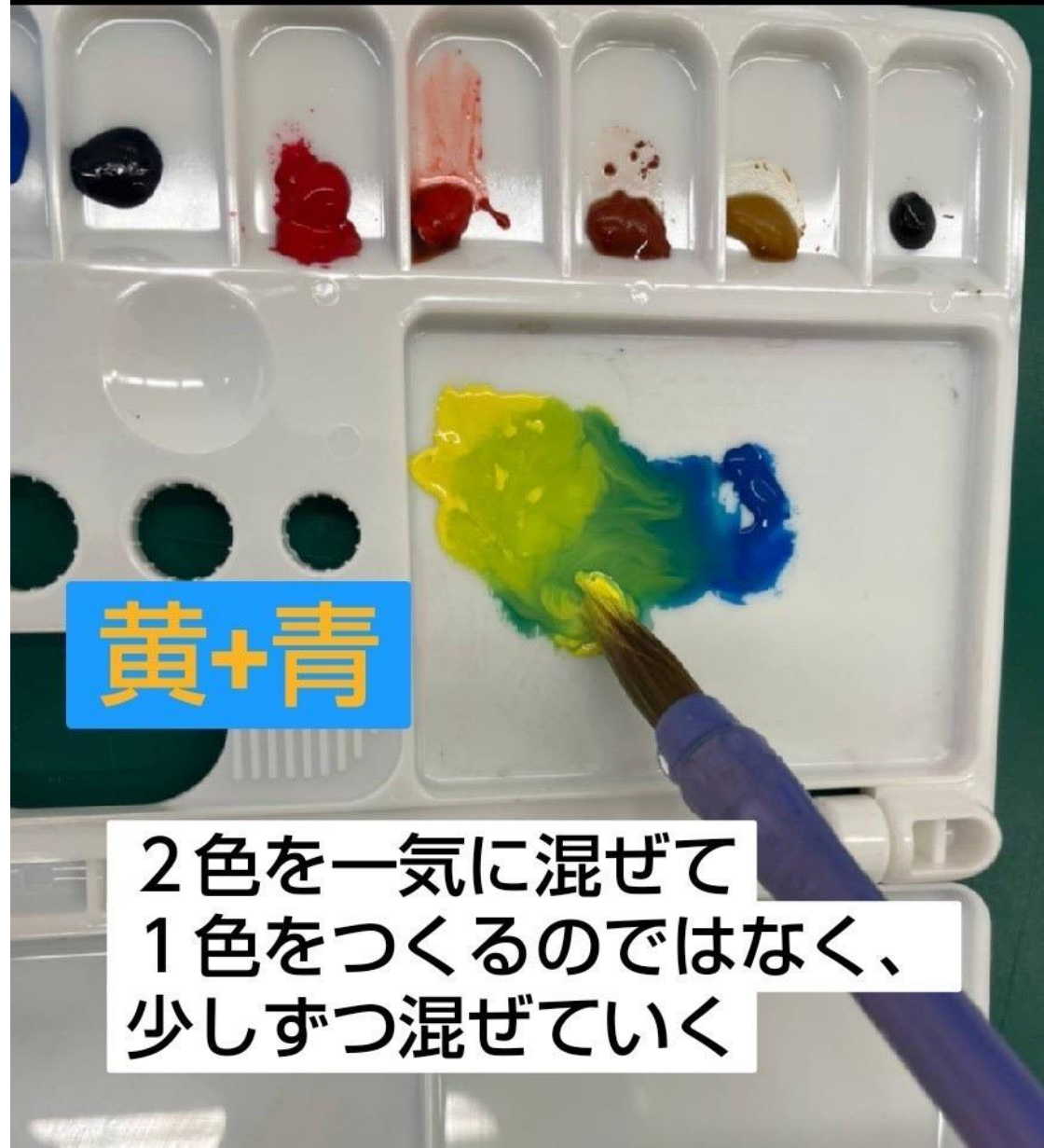
混色の仕方

赤+青

少しずつ混ぜて
多彩な色を楽しむ
ようにしたい



混色の仕方



黄+青

2色を一気に混ぜて
1色をつくるのではなく、
少しずつ混ぜていく

パレットの様子



混色する時は、同系色を意識して
大きい部屋を使うと、
色のにごりが出にくい

混色の仕方



ビリジアン

+青

混色の仕方

白

+赤



混色の仕方

白

+青

明度の高い色を先に広げ、
低い色は後から
少しずつ加えていく

混色の仕方

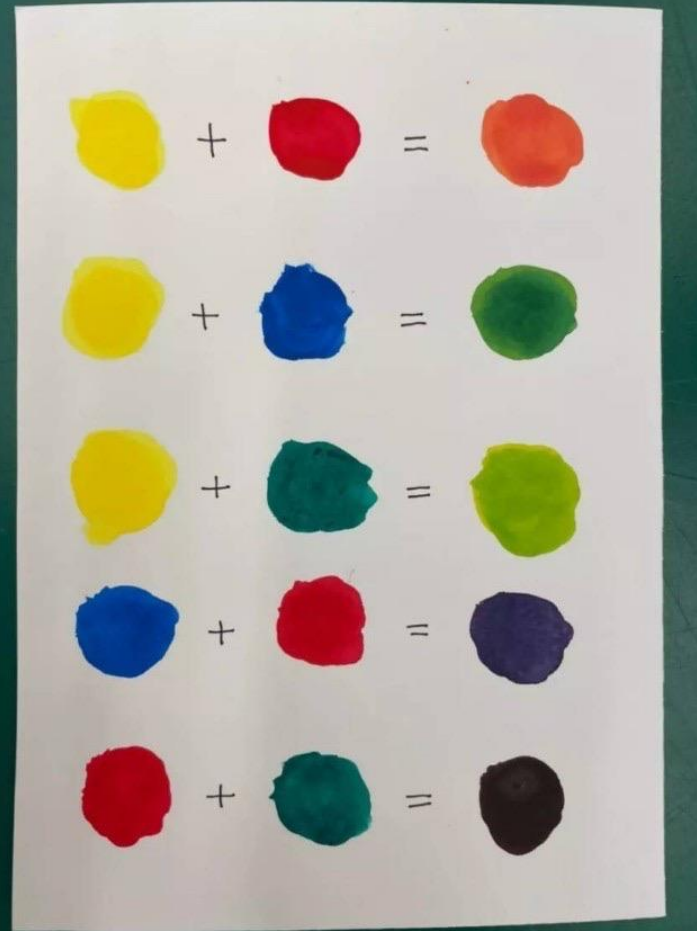


悪い例

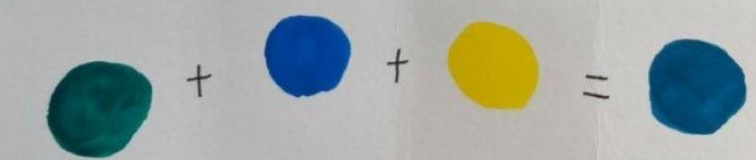
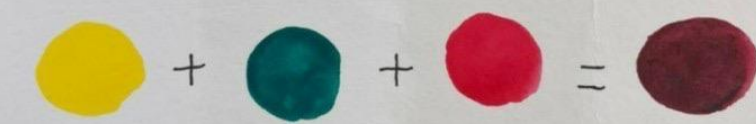
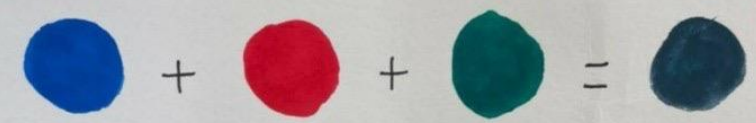
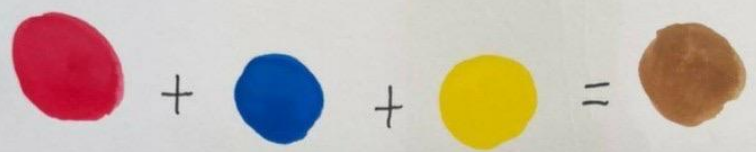
絵の具の量が多く、
色も濁っている

混色

児童が表したいものに合わせて
より変化のある色合いを作るた
めには混色する必要がある。



色の混色例(二色)



色の混色例(三色)

混色の仕方

左端の色に右端の絵の具を少量
ずつ混ぜていく。そうすると、
下のようにグラデーションがで
きる。



青+黄

赤+青

黄+赤

黄土+藍

パレットの様子



混色する時は、同系色を意識して
大きい部屋を使うと、
色のにごりが出にくい

パレットの様子



色づくりを
楽しんでいる様子が
パレットから伝わります

穂先の使い方



①穂先に絵の具を
少しつけてかく



②穂の腹(中ほど)を
使ってかく



③穂全体を使い、
押しつけてかく



④平筆の穂先で、
帯状にかく

筆の穂先につける絵の具の量や、
穂の使い方、筆を動かす方向などに
よって、様々な表現ができる

筆と水の量

古いタオルなどの上で筆についた水の量を調節させる。

水の量を変えるだけで表現が多様に変わってくることをいろいろ試しながら経験させたい。水の量をコントロールすることは、自分の表現したい絵の具の濃度を見つけるために身に付けておきたい。



筆と水の量

筆に色を取り、一筆描きで渦巻きを描く。隣の線に触れないように、注意しながら、ゆっくり丁寧に描く。



筆と水の量

色のグラデーションができて、色の変化が楽しめる。



筆と水の量

水の量を変えるだけで、表現が多様になってくる。筆に絵の具を一度だけ取り、直線を描いていく。描き進めて行くうちに色が少しずつ薄くなっていく。



パレットのエコ洗い

パレットの片づけ方として、筆洗の水を使って、筆でパレットの色を落としていく。パレットは筆洗に水が落ちるように設置する。色を混ぜて作った部屋を洗っていく。絵の具を出す小さな部屋はそのままにして、次回に使う。



パレットのエコ洗い

パレットを洗ったら、布でぬれた部分をふき取る。



パレットのエコ洗い

パレットを布でふき取ると、きれいな状態になる。水も節約できる。絵の具を出した小さい部屋は、洗わず残しておく。(次回、水でといて使う。)

